

令和2年5月

普及活動報告

就労継続支援A型作業所「ひろきのこ」 で黒大豆エダマメは種作業を支援 (亀岡市：18日)



は種作業を行う通所者

就労継続支援A型作業所「ひろきのこ」は、昨年、2aの面積で黒大豆エダマメの栽培に取り組みましたが、今年は夏季の収入確保を目指して栽培面積を約3aに増やし、9月上旬まで収穫するため3回に分けては種を行うことにしました。

「ひろきのこ」代表は、「今後はエダマメだけでなく野菜や果樹の栽培にもチャレンジしていきたい」と述べられていました。普及センターは引き続き栽培技術を支援します。

場 所 亀岡市畑野町

出席者数 9名

エダマメは、袋詰めや枝付きにして市内のスーパー等の直売コーナーで販売予定

京都府南丹農業改良普及センター

令和2年5月

普及活動報告

目指せ売上げ1億円！～大規模栽培農業法人で「紫ずきん」等エダマメの栽培始まる～ (京丹波町：25日)



中耕した「京夏ずきん」



生分解マルチの展張



128穴セルトレイ300枚には種

◆「京夏ずきん」(4ha)

7月25日からの出荷を目指して、5月6～12日にかけて定植(1.5ha)が、5月20日及び23日に直播(2.5ha)が行われ、5月25日には、定植済みほ場で3連カルチを用いた1回目の中耕が行われました。

◆「紫ずきん3号」(約6ha)

昨年の試験栽培で収量が多かった生分解マルチ栽培を本格的に導入(約4.2ha)し、5月11日から直進アシスト機能付きトラクターとマルチャーを用いてマルチの展張を行いました。そして、5月25日からは3回に分けてセルトレイ(128穴/枚)300枚ずつには種を行っています。

普及センターは、今後も新技術導入作業を重点に支援します。

場 所 京丹波町農業法人ほ場

出席者数 8名

「紫ずきん2号」(約5ha)、「新黒丹波」(約6ha)についても順次直播する予定です

京都府南丹農業改良普及センター